

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	取組方針	生活衛生対策の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	害虫駆除事業			

【事業全体概要】

事業概要	・業務委託による駆除業務（5月中旬～9月末・車両3台 作業員8名） ・分室（直営）による駆除業務（通年・車両2台 作業員6名） ・男木島は分室（直営）による駆除業務（5月～9月） ・女木島は地元コミュニティ協議会に駆除を依頼（5月～9月） ・蚊等衛生害虫に悩まされている市民からの相談（電話・来訪）対応				
年度概要	・業務委託による駆除業務（5月中旬～9月末・車両3台 作業員8名） ・分室（直営）による駆除業務（通年・車両2台 作業員6名） ・男木島は分室（直営）による駆除業務（5月～9月） ・女木島は地元コミュニティ協議会に駆除を依頼（5月～9月） ・蚊等衛生害虫に悩まされている市民からの相談（電話・来訪）対応				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	伝染病予防法（全廃）・感染症の予防及び感

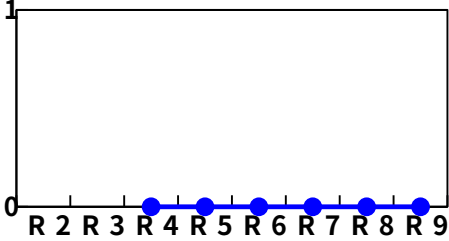
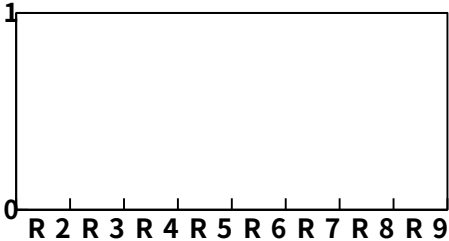
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	・感染症の原因となる蚊の駆除を行うことにより、感染症の蔓延を未然に防止する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 委託業者作業箇所数		箇所	0	0	22,157	13,000	13,000
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	衛生害虫媒介感染症罹患者数（海外渡航後発症者除く）	人	目標値 実績値	0 0	0 0	0 0	0 0	0
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	必要とする用水路等に効率よく作業を行うことにより、感染症患者発生の防ぎ、目標を達成することが出来た。			(目標達成度) 100.0%				
				(得点) 35点				
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	35,275	37,139	41,660	43,823
	(事業費)	32,281	33,375	37,800	39,963
	(職員人件費)	2,994	3,764	3,860	3,860

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	・業務委託による駆除業務（５月中旬～９月末・車両３台 作業員８名） ・分室（直営）による駆除業務（通年・車両２台 作業員 ６名） ・男木島は分室（直営）による駆除業務（５月～９月） ・女木島は地元コミュニティ協議会に駆除を依頼（５月～ ９月） ・蚊等衛生害虫に悩まされている市民からの相談（電話・ 来訪）対応	・衛生害虫駆除業務委託料 16,709千円 ・その他薬剤等 1,081千円 ・報酬等 20,010千円	総額	37,800	
			特定財源	国	17,136
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	20,664	
令和 7 年度	・業務委託による駆除業務（５月中旬～９月末・車両３台 作業員８名） ・分室（直営）による駆除業務（通年・車両２台 作業員 ６名） ・男木島は分室（直営）による駆除業務（５月～９月） ・女木島は地元コミュニティ協議会に駆除を依頼（５月～ ９月） ・蚊等衛生害虫に悩まされている市民からの相談（電話・ 来訪）対応	・衛生害虫駆除業務委託料 17,423千円 ・その他薬剤等 1,065千円 ・報酬等 21,475千円	総額	39,963	
			特定財源	国	18,155
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	21,808	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
感染症の蔓延を防止し、市民の快適な生活環境を維持できている。駆除の必要性の再検討や駆除箇所の精査等により、コストの削減及び事業規模の縮小化を図る。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
市民が安全で安心して快適な生活環境を維持できるよう、今後も引き続き事業を継続して実施することとし、実施体制については、委託業者の作業箇所数を精査するなど、コストの削減及び事業規模の縮小化を検討していく。						

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	取組方針	生活衛生対策の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	公衆浴場施設改善事業等助成事業			

【事業全体概要】

事業概要	風呂のない家庭にとって、公衆浴場は日常生活で欠くことのできない施設であるが、その数は段々と減少しているため、経営の安定化を図るなどの必要な助成を実施することにより、公衆衛生の向上や増進、住民の福祉の向上を図る。				
年度概要	・公衆浴場業者への水道料金助成 ・公衆浴場活性化事業等補助 ・公衆浴場施設改善事業補助				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	公衆浴場の確保のための特別措置に関する法

【事業の目的】

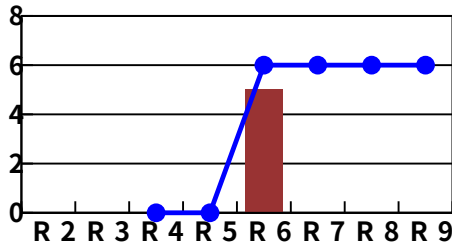
対象（何を）	香川県知事が指定する物価統制令により入浴料金が統制されている公衆浴場業者及び高松公衆浴場組合
意図（どのような状態にしたいか）	・公衆浴場業者の経営の安定化を図り、転廃業を防止する。

【事業の活動】

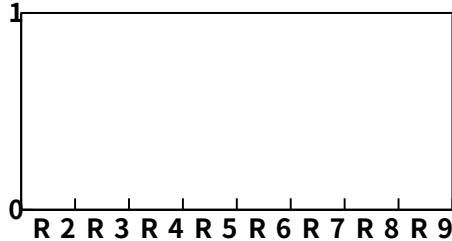
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	補助金交付件数	件	0	0	1	2	2
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																		
一般公衆浴場数（銭湯）	箇所	目標値	0	0	6	6	6																		
		実績値	0	0	5	6	6																		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				 <table><caption>Indicator 1 Achievement Data</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 2</td><td>0</td></tr><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>83.3</td></tr><tr><td>R 7</td><td>83.3</td></tr><tr><td>R 8</td><td>83.3</td></tr><tr><td>R 9</td><td>83.3</td></tr></tbody></table>				年度	達成率 (%)	R 2	0	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	83.3	R 7	83.3	R 8	83.3	R 9	83.3
年度	達成率 (%)																								
R 2	0																								
R 3	0																								
R 4	0																								
R 5	0																								
R 6	83.3																								
R 7	83.3																								
R 8	83.3																								
R 9	83.3																								
施設の老朽化が進んでいるが、補助を行うことにより、計画的に施設改善に取り組んでいる。ただし、一般公衆浴場については、経営者の高齢化に伴い、休止している施設があるため、目標の達成には至らなかった。		(目標達成度)	83.3%																						
		(得点)	29点																						

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																		
		目標値																							
		実績値																							
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				 <table><caption>Indicator 2 Achievement Data</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 2</td><td>0</td></tr><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>0</td></tr><tr><td>R 7</td><td>0</td></tr><tr><td>R 8</td><td>0</td></tr><tr><td>R 9</td><td>0</td></tr></tbody></table>				年度	達成率 (%)	R 2	0	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	0	R 7	0	R 8	0	R 9	0
年度	達成率 (%)																								
R 2	0																								
R 3	0																								
R 4	0																								
R 5	0																								
R 6	0																								
R 7	0																								
R 8	0																								
R 9	0																								
		(目標達成度)																							
		(得点)																							

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	20,041	12,737	8,831	8,622
(事業費)	[千円]	17,796	10,479	6,515	6,306
(職員人件費)	[千円]	2,245	2,258	2,316	2,316

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	・公衆浴場業者への水道料金助成 ・公衆浴場活性化事業等補助 ・公衆浴場施設改善事業補助 ・一般公衆浴場施設緊急支援事業	・公衆浴場業者への水道料金助成 4, 1 1 5 千円 ・公衆浴場活性化事業等補助金 1, 3 0 0 千円 ・公衆浴場施設改善事業補助金 1, 1 0 0 千円	総額	6,515	
			特定財源	国	0
				県	550
				市債	0
				他	0
			一般財源	5,965	
令和 7 年度	・公衆浴場業者への水道料金助成 ・公衆浴場活性化事業等補助 ・公衆浴場施設改善事業補助	・公衆浴場業者への水道料金助成 4, 2 0 0 千円 ・公衆浴場活性化事業等補助金 1, 3 0 0 千円 ・公衆浴場施設改善事業補助金 8 0 6 千円	総額	6,306	
			特定財源	国	0
				県	403
				市債	0
				他	0
			一般財源	5,903	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	82 / 100 (82 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

一人でも多くの市民に公衆浴場を利用してもらえるよう毎月イベント事業を実施することで、活性化に取り組んでいる。しかし、経営者の高齢化に加え、燃料費等の高騰により、安定した収入が見込めない上に、後継者不足等により浴場数が減少傾向にあることが、今後の課題としてあげられる。

市民の公衆浴場の利用機会の確保のためには、利用しやすい入浴料金を設定しなければならない。また、物価統制令により入浴料金が統制されているため、値上げによる対応は困難であり、引き続き市の助成は必要である。一方、公衆浴場数の維持のためには、利用者の確保が必要であり、自家用風呂の保有者による利用を促すなど、さらなる利用者の拡大に向けて、公衆浴場組合による銭湯のイベント等において魅力ある事業を展開していく必要がある。今後は、公衆浴場施設経営者の意見や市民のニーズの把握などに努め、助成対象事業の内容を精査するなど、より効果的な事業を実施していく。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	取組方針	動物愛護管理の推進		事業期間	令和 6年度～令和 年度
	事務事業	犬猫一時保管施設整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	犬・猫の殺処分数が全国ワーストである本市の現状を踏まえ、人と動物が共生できるまちづくりを推進するため、香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センター「しっぽの森」を中心に、動物愛護の精神の普及啓発を図るとともに、犬・猫の殺処分数の減少に取り組めるように、犬・猫の一時保管施設を早急に整備する。				
年度概要	犬・猫の殺処分数が全国ワーストである本市の現状を踏まえ、人と動物が共生できるまちづくりを推進するため、香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センター「しっぽの森」を中心に、動物愛護の精神の普及啓発を図るとともに、犬・猫の殺処分数の減少に取り組めるように、犬・猫の一時保管施設を早急に整備する。				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	5-⑪	関連根拠法令	

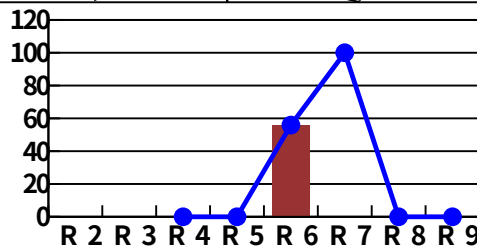
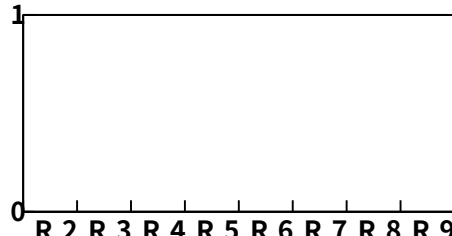
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センターでの譲渡事業につなげ、殺処分数を減らすために、収容した犬・猫の一時保管施設を早急に整備し、これら事業を着実に実施することにより、動物の命の大切さを尊重し、理解し合う「人と動物の調和のとれた共生社会」の実現に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	犬猫一時保管施設単年度整備率	%	0	0	25.9	44.1	0
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	犬猫一時保管施設整備進捗率			%	目標値	0	0	55.9	100	0
					実績値	0	0	55.9		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	一時保管施設整備地における造成工事や排水路整備工事のほか、実施設計を行い、令和6年度に建設工事に着手したことにより、目標を達成できた。					(目標達成度) 100.0%				
(得点) 35点										
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
					目標値					
					実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
						(目標達成度)				
(得点)										

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	32,785	47,707	209,429	284,904
(事業費)	[千円]	23,804	38,675	200,165	275,640
(職員人件費)	[千円]	8,981	9,032	9,264	9,264

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	犬・猫の殺処分率が全国ワーストである本市の現状を踏まえ、人と動物が共生できるまちづくりを推進するため、香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センター「しっぽの森」を中心に、動物愛護の精神の普及啓発を図るとともに、犬・猫の殺処分率の減少に取り組めるように、犬・猫の一時保管施設を早急に整備する。	①排水路整備工事委託 400千円	総額	200,165	
		②建設工事 104,030千円	特定財源	国	0
		⑥電気設備工事 26,400千円		県	0
		⑦機械設備工事 31,000千円		市債	143,900
		⑧水道加入金 66千円		他	18,703
		一般財源	37,562		
令和 7 年度	犬・猫の殺処分率が全国ワーストである本市の現状を踏まえ、人と動物が共生できるまちづくりを推進するため、香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センター「しっぽの森」を中心に、動物愛護の精神の普及啓発を図るとともに、犬・猫の殺処分率の減少に取り組めるように、犬・猫の一時保管施設を早急に整備する。	①建設設備工事監理業務委託 5,549千円	総額	275,640	
		②建設工事等 243,809千円	特定財源	国	0
		③雑工事 136千円		県	0
		④隣接農道舗装復旧工事 3,146千円		市債	212,900
		⑤備品購入 23,000千円		他	49,000
		一般財源	13,740		

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
一時保管施設整備地における造成工事や排水路整備工事のほか、実施設計を行い、令和6年度に建設工事に着手した。また、しゅん工後の雑工事や備品購入の検討を行った。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
犬や猫の殺処分率が全国の中でも多い本市の現状を踏まえ、人と動物が共生できるまちづくりを推進するため、早急に一時保管施設を整備し、香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センター「しっぽの森」を中心に、動物愛護の精神の普及啓発に力を入れ、犬・猫の返還・譲渡をさらに推進する。						